

# 東京学芸大学附属特別支援学校における

## 金融教育の取り組みⅤ

東京学芸大学附属特別支援学校 金融教育共同研究プロジェクト

小金井俊夫 吉澤洋人 小島啓治

川井優子 山本由佳 松本直巳 松本晃

### I はじめに

東京学芸大学附属特別支援学校は、東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同研究プロジェクトに2007年度より参加し、「特別支援教育における金融教育」というテーマで研究・実践的検討を行ってきた。特別支援教育への転換期であるこの時期に、金融教育を、支援を必要としている子どもたちにどうなげかけていくかは、特別支援教育の内容的検討という意味において重要なものであると考える。それは、この子どもたちが、社会の中でどのように生きていくかを考える契機であり、そのためにどのような学習内容を学校として与えられるかを考える機会でもあると思うからである。今回の報告は、金融教育を、知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部の中・軽度の生徒への「くらしづくり」のための学習の一環としてとらえ、この5年の間に本校で検討してきた内容と授業実践について報告するものである。

### II 研究の課題

研究の課題を次のように設定した。

- ①金融教育の指導内容の検討 : 高等部の中・軽度生徒を対象とした金融教育の指導内容のモデルを作成する。
- ②テキスト、指導案集の作成 : 上記指導内容を元にしたテキストや指導案集を作成する。
- ③授業づくり : 指導内容の検討のための授業を行う事を通して、授業づくりのポイントを明らかにする。

### III 特別支援教育における金融教育の指導内容のモデル

#### 1. ねらい

特別支援教育における「金融教育」の学習は、生徒達の卒業後の生活現実の中で具体的にいかされていかなければならない。我々は、特別支援教育における「金融教育」を、「生活とお金に関わる学習内容」ととらえ、現在、そして卒業後に主体的に生活を形成していく生徒達の「くらしづくり」の学習の一環として、そのねらいを検討した。

- ① 金銭に関する生活に必要な知識と技能を身につけ、今の生活にいかすとともに、将来の生活について考えることができる。
- ② 将来の生活の主体者として、金銭管理の方法など生活に必要な金銭に関わる事柄を考え、また身につけることができる。
- ③ 金銭に関する身近な事柄や、将来必要になる事柄に関心を持ち、自分の将来の生活を想定する中でその内容や必要性について考えることができる。

## 2. 指導内容の検討

特別支援教育（知的障害を主たる対象とする、以下同じ）において、金融教育の内容をどの教科や領域で扱うかという点は、それぞれの学校の教育課程により様々であろう。我々は、金融教育の内容がそれらの教科や領域にまたがるものとして、そして、本人達の生活に近い内容であるべきものと考え、「わたしたちのくらしとお金」という名称でこの教育内容をまとめることとした。この「わたしたちのくらしとお金」の指導内容を知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部における中・軽度生徒への「くらしづくり」ための学習ととらえた時、その内容は大きく二つに分けることができる。そのひとつは、生徒達が卒業後の生活の中で出会う具体的な場面の中で必要となる知識や行動の学習である。例えば旅行などの計画の立て方や予算についてであり、また、銀行の利用の仕方や、金銭管理の方法などである。もうひとつは、より社会的事象に関心を深め、社会で起こっていることが理解できるようになっていくための知識である。例えば年金についてであり、流通や物の値段についての知識などである。本研究では、これらの学習を「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめ、上記分類の前者を「くらしとお金」、後者を「社会と経済」という名称でまとめた。資料1が「わたしたちのくらしとお金（2011年度版）」の指導内容の一覧である。詳しくは2010年度の本校の紀要「東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要No.55」を参考にさせていただきたい。

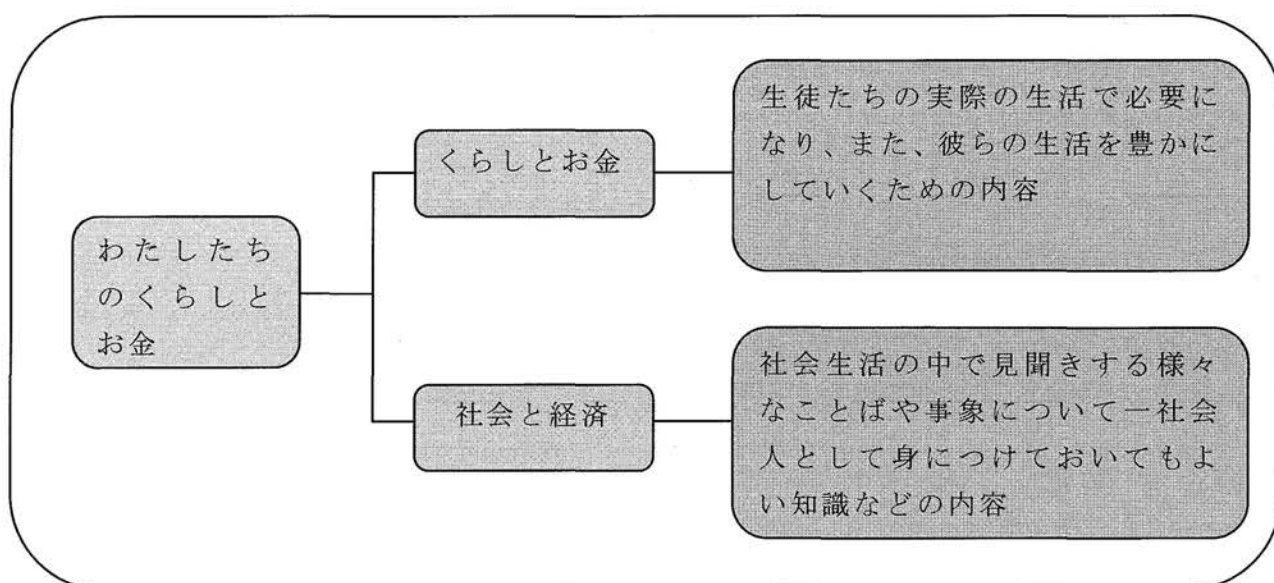


図1 「私たちのくらしとお金」の分野とその内容

## IV 生徒用テキストや指導案集の作成について

2008年度の主な検討内容のひとつが生徒用テキストの作成である。テキスト「くらしとお金」は、「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめた「特別支援教育における金融教育の指導内容」（以下「指導内容」）の内の前半「くらしとお金」の部分を生徒用のテキストとしてアレンジしたものである。「指導内容」が特別支援学校高等部の中・軽度の生徒を対象としているように、このテキストも同じ生徒達を対象として構成している。テキストは、「指導内容」の前半「くらしとお金」を構成している5つの内容に「はじめに」と「おわりに」をつけた全7章で構成されている。内容としては、「くらしとお金」に盛り込まれた内容の導入の部分でまとめたものと捉えていただければと考えている。また、いくつかの節に1ページ以上のワークシートを配している。各学校等で使用される場合には、これらの点を考慮して頂き、それぞれの授業の対象者の状況等に応じ、また、必要な内容に関してさらに掘り下げて授業を行って頂きたいと考えている。ワークシートについてもそのまま使ってもかまわないし、ひとつの参考としてさらに生徒たちに合わせた工夫をしていただけると、とも考えている。

また、指導案集については、現在検討を重ねている段階で、残念ながら作成には至っていない。

## V 授業づくり

授業づくりについては、研究の当初から高等部の「くらし」の時間に軽・中度の生徒を中心としたグループで継続的に行ってきた。そして、2009年度はテキスト「くらしとお金」に沿って以下のような内容の授業展開を試みた。

- ①導入：自分とお金、現在・将来の自分
- ②計画的な金銭の使用：上手な買い物の仕方
- ③計画的な金銭の使用：外出の計画
- ④金融機関や社会資源の利用：銀行・ATMの利用
- ⑤危機回避・消費者教育：個人情報、携帯電話、  
キャッチセールス、出会い系サイト
- ⑥生活設計・金銭管理：将来の私に必要なお金  
「私はこんな部屋に住みたい」
- ⑦生活設計・金銭管理：ひとりぐらしに必要なお金、  
生活費・費目について
- ⑧生活設計・金銭管理：生活費について知ろう
- ⑨生活設計・金銭管理：収入と支出
- ⑩支援機関や支援者の利用：私のための支援機関、  
サポーターズサークル

これらの授業は、概ね始めにその時間のテーマを示し、内容の解説をしながら一緒に黒板上のワークシートを埋め、最後にワークシートに記入するという展開で行われている。また、授業を組み立てるにあたっては次のような点に配慮する

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

ようにした。

- ①生徒の主体性を重視する。
- ②現実的な場面を経験するとともに、将来の自分の生活を想像させる。
- ③生徒に身近な、また具体的な話題から考えさせ、具体的な内容や教材を準備する。
- ④現在の生活や将来の生活への見通しを持たせ、学習内容を自分のもの（こと）としてとらえられるようにする。
- ⑤必ず「困ったとき」の対応を教える。
- ⑥1つの授業に1つ以上のワークシートを準備し、時間内にまとめさせる。
- ⑦必要に応じて生徒の生活状況などの情報を保護者から得ておく。
- ⑧ゲストティーチャーなども有効に活用する。

## VI 「社会と経済」分野の授業づくり

2010年度以降はそれまで手がつけられていなかった「わたしたちのくらしとお金」の「社会と経済」分野のテキストづくりに取り組んでいる。これに関しては今のところ、①テキスト試案の作成、②授業での試用、③テキストの修正、という流れで製作していく予定である。実際の製作にあたっては、昨年度授業づくりを行ってきた卒業生3名に協力していただき、月1回日曜日に2時間の授業を行っている。2010年度は以下のような授業に取り組んだ。

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| ①プロローグ      | 給料をもらって・・・            |
| ②収入・労働と賃金1  | 私の給料どこから来るの？          |
| ③収入・労働と賃金2  | 給与明細表を見てみよう1<br>(資料2) |
| ④収入・労働と賃金2  | 給与明細表を見てみよう2          |
| ⑤収入・労働と賃金3  | 給料はだれが使う？             |
| ⑥収入・労働と賃金4  | 預金をしよう                |
| ⑦税の徴収と国の支出1 | 税金ってなんだろう？1           |
| ⑧税の徴収と国の支出1 | 税金ってなんだろう？2           |
| ⑨税の徴収と国の支出2 | 税金の払い方、戻し方            |
| ⑩税の徴収と国の支出3 | 税金の使われ方               |
| ⑪税の徴収と国の支出4 | 国の財政の課題               |

また、2011年度には以下のような授業に取り組んだ。

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| ⑫年金とその問題1 | 働けなくなったら<br>どうしよう |
| ⑬年金とその問題2 | 年金について            |

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

- ⑭年金とその問題 3 障害基礎年金について
- ⑮新しいお金とその利用 電子マネーについて  
(在校生対象の授業)
- ⑯日本のお金、外国のお金 1 外国のお金と両替
- ⑰日本のお金、外国のお金 2 為替、円安、円高って  
なんだろう？
- ⑱お金のトラブルと対処 1 携帯、スマホ、インター  
ネットのトラブル  
(在校生対象の授業)
- ⑲お金のトラブルと対処 2 インターネットショッ  
ピングの注意  
(在校生対象の授業)

これまで以上のような授業を行ってきた。学習内容的には卒業生たちには難しいことも多かったようだが、給与明細の学習などは自分たちのこととして現実的に捉えられるところもあり、真剣に授業に参加してくれ

ていた。2011年度は卒業生たちもそれぞれに予定が多くなり、なかなか授業の機会が得られない所もあったので、一部在校生を対象にした授業も行っている。(在校生対象の授業)と記してあるものがそれである。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

## Ⅶ 新テキストの作成と授業づくり

2011年4月に幼稚園、小学校、中学校、高校用のテキスト「考えてみよう これからのくらしとお金」(以下、新テキストと表記)が完成した。これに応じて、本校でもこの新テキストを使用しての授業を試みた。行った授業は「銀行の仕組みとはたらき」、「クレジットカードの特徴と利用」の2つの授業である。それぞれ新テキストの内容を本校の生徒用にアレンジして授業を行っている。

「銀行の仕組みとはたらき」の授業では、新テキストの内容も含め、

- ①銀行の各種業務と利益の出し方、役割について
- ②利息、利率と預金の種類
- ③キャッシュカードの利用と使用上の注意

という3点の内容で授業を行った。(資料3)

「クレジットカードの特徴と利用」の授業では、新テキストの内容も含め、

- ①クレジットカードとは、その特徴と利用方法
- ②クレジットカードの仕組みとカード会社の利益
- ③支払いの方法とその特徴、注意点
- ④クレジットカード以外の現金を使わない支払い方法とその特徴

という4点の内容で授業を行った。(資料4)

新テキストの学習内容を知的障害の生徒たちにどのようにかみ砕いて教えていくかは大きな課題であるが、内容によっては十分に彼らの学習課題に合致するものもあると考えてい

る。実際に「銀行の仕組みとはたらき」について授業では、2時間分の内容を1時間で行ったため、生徒の理解がどのくらいか心許ない所はあるものの、預金利息と貸出利息の違いなどは初めて学習することでもあり、非常に興味を持って学習に参加していた。DVD版のWebテキストには、「やさしくたのしく」というボタンで参考になる特別支援教育用テキストの一部にジャンプできるようにもなっている。これなども参考にして授業作りを行っていたらと思う。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

この部分は  
公開に適さないため  
掲載できません。

## Ⅷ 今後の課題

以上、この5年間の本校における「金融教育」の研究の取り組みについて記してきた。計画してきたことがなかなか前に進まないジレンマもあるものの、少しずつではあるが進展しているように感じている。最後に今後の進め方であるが、引き続き次のことをまとめていければと考えている。

- ①「社会と経済」分野のテキストの作成
- ②上記テキストに基づいた授業づくり
- ③指導案集の作成

## 資料1 「わたしたちのくらしとお金」の指導内容 (2011改訂)

### 1. 目標

- ①金銭に関する生活に必要な知識と技能を身につけ、今の生活にいかすとともに、将来の生活について考えることができる。
- ②将来の生活の主体者として、金銭管理の方法など生活に必要な金銭に関わる事柄を考えることができる。
- ③金銭に関する身近な事柄や、将来必要になるであろう事柄に関心を持ち、自分の将来の生活を想定する中でその内容や必要性について考えることができる。

### 2. 内容

#### 1) 身近な金銭管理や生活設計 (分野：くらしとお金)

- ・計画的な金銭の使用
- ・金融機関や社会資源の利用
- ・金銭管理・生活設計
- ・消費者教育・危機回避
- ・支援機関や支援者の利用

#### 2) 社会や経済に関する知識と理解 (分野：社会と経済)

- ・収入・労働と賃金
- ・税の徴収と国の支出
- ・年金とその問題
- ・流通と経済についての基礎知識
- ・貨幣の種類と価値
- ・新しいお金とその利用
- ・お金に関する犯罪とその予防

### 3. 具体的内容と指導の展開

#### 1) くらしとお金

指導内容	ねらい	指導の具体的項目	授業展開例
上手にお金を使おう (計画的な 金銭の使用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に関わる金銭的事象に関して金銭の使用に関する計画の立て方や上手なお金の使い方を身につける</li> <li>・金銭を計画的に使うことの大切さを知り、行動できる</li> </ul>	・買い物をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要なものは何</li> <li>・生活に必要なものが売っている場所</li> <li>・いろいろな買い物の仕方</li> <li>・買い物の際に気をつけること</li> <li>・かしこい買い物の仕方</li> </ul>
		・外出をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の計画を立てよう</li> <li>・外出に必要な費用は</li> <li>・楽しく外出するために</li> </ul>
		・高いものを 買いたいときは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高いものを買いたいときはどうする</li> <li>・お金を計画的に貯める</li> <li>・相談しながら考えよう</li> </ul>
		・こづかい帳を つけよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こづかい帳をつけてみよう</li> <li>・費目について</li> <li>・こづかい帳の上手な使い方</li> </ul>
銀行や 郵便局に行こう (金融機関や 社会資源の利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関の役割について知る</li> <li>・金融機関の利用方法を知り、利用の方法を身につける</li> <li>・金融機関等の利用の際に気を付けなければならないことがわかる</li> </ul>	・銀行や 郵便局の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行や郵便局でできること</li> <li>・金融機関に行ってみよう</li> <li>・預金や貯金、預貯金の目的</li> <li>・給与振り込み</li> </ul>
		・預金や 貯金について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預金や貯金の仕方</li> <li>・通帳を作ろう</li> <li>・キャッシュカードについて</li> <li>・キャッシュカードを 使ってみよう</li> </ul>
		・金融機関の 便利な使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与振り込み</li> <li>・自動引き落としの使い方と注意</li> <li>・クレジットカード</li> </ul>
		・銀行や郵便局を 使うときの注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通帳や暗証番号の扱い方</li> <li>・キャッシュカードや 暗証番号の注意</li> </ul>

卒業後の暮らし (生活設計・ 金銭管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後の生活について考えることができ、金銭面で必要な知識を身につけることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の生活について考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業したら・・・(将来を考える)</li> <li>どんなくらしがしたい(将来の希望、住まいなどのくらし方の実際)</li> <li>仕事と給料</li> <li>くらし方のいろいろ(1日、1週間、1ヶ月、1年の生活)</li> <li>趣味を持とう(豊かなくらしのために)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>収入と支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとりぐらしに必要なお金</li> <li>仕事と給料</li> <li>自分のくらす場所</li> <li>収入・支出ってなに</li> <li>支出の費目</li> <li>年金について</li> <li>税金について</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活費について知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活費の内訳は</li> <li>いくらくらいかかるかな</li> <li>自分の生活について考えよう</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>家計簿をつけよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家計簿の費目</li> <li>自分にあった家計簿</li> <li>家計簿をつけてみよう</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にあったお金の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金の管理ってどんなこと</li> <li>自分だったらどうしよう</li> <li>自分にあった金銭の管理</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしたい将来のくらし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目指す将来のくらし</li> <li>仕事と収入</li> <li>生活のためのお金</li> <li>将来のためにがんばること</li> </ul>
安心なくらし (危機回避、 消費者教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリペイドカードやクレジットカード、その他の新しいお金についての知識や、適切な使い方がわかる</li> <li>キャッチセールス等お金に関する危険についての知識を持ち、危機回避の方法がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利なお金とその使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利なお金のいろいろ</li> <li>クレジットカード</li> <li>プリペイドカード</li> <li>電子マネー</li> <li>便利なお金とその注意</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行や郵便局を使うときの注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通帳や暗証番号の扱い方</li> <li>キャッシュカードや暗証番号の注意</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>お金の危険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな危険があるのだろうか</li> <li>悪徳商法</li> <li>キャッチセールス</li> <li>通信販売の危険</li> <li>インターネットの危険</li> <li>携帯電話をかしこく使おう</li> <li>個人情報について</li> <li>印鑑の使用や暗証番号の扱い</li> <li>危険の回避</li> <li>被害者になったら</li> <li>加害者にならないために</li> </ul>
困ったときには (支援機関や 支援者の利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金に関してどんなことで困ることがあるかを理解し、その対処方法がわかる</li> <li>支援機関や支援者の存在がわかり、その利用方法を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>困った時ってどんなとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>困った時ってどんなとき</li> <li>困った時はどうしたらいい</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援機関や支援者の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援機関って何だろう</li> <li>支援機関や支援者の利用の仕方</li> <li>私が見える支援機関</li> <li>サポーターズサークルについて</li> </ul>



## 2) 社会と経済

指導内容	ねらい	指導の具体的項目	授業展開例
給料(工賃)について (収入・労働と賃金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働と賃金に関する基本的知識を身につける</li> <li>卒業後の生活を考えながら、自分仕事や給料の使い方を考えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事と給料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給料はいくら?</li> <li>働くことと給料</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>給与明細の見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給料の中身は何だろう</li> <li>給料明細を見てみよう</li> </ul>
税金って何だろう (税の徴収と国の支出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金やその使い方についての基本的知識を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金って何?</li> <li>どんな税金があるの?</li> <li>税金の払い方、戻し方</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>税金の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財政と税金</li> <li>税金の使い方</li> </ul>
年金について (年金とその問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金についての基本的知識を身につける</li> <li>年金の支払い方や年金の受け取り方がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金ってなに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金って何?</li> <li>年金の仕組み</li> <li>障害基礎年金について</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年金の支払い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金はどこで支払う?</li> <li>年金についての注意</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年金を受けるには</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金をもらえるかな?</li> <li>年金の手続きの仕方</li> </ul>
値段の仕組み (流通と経済)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものの流通や値段の決まり方などに関する基本的知識を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>値段は どうやって決まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物には値段がある</li> <li>値段はどうやって決まる?</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>流通の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通って何のこと?</li> <li>品物の動き方と値段</li> </ul>
日本のお金、 外国のお金 (貨幣の種類と価値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨幣の種類や価値についての基本的知識を身につける</li> <li>外国の貨幣やその価値について理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のお金、 外国のお金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国のお金はどんな物?</li> <li>日本のお金と比べてみよう</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>両替と為替</li> <li>円高・円安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国のお金に両替するには</li> <li>為替って何だろう</li> <li>円安、円高と海外旅行</li> </ul>
電子マネーって 何だろう (新しいお金と その利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々に変化している電子マネーについての基礎知識を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子マネーって 何だろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子マネーのいろいろ</li> <li>電子マネーの利用の仕方</li> <li>電子マネーを使うときの注意</li> </ul>
お金に関わる トラブルと対処方	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金に関わるいろいろなトラブルについて知り、その対処法がわかる</li> <li>お金に関わる犯罪についての基本的知識を身につける</li> <li>被害者にも加害者にもならないためにどのようにすることが必要かがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金のトラブルとは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金のトラブルとは</li> <li>家族や友人とのトラブル</li> <li>勤務先でのトラブル</li> <li>ケータイ、スマホ、インターネットのトラブルと注意</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな トラブルと対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪って何だろう</li> <li>犯罪を犯すとどうなるの?</li> <li>お金に関わる犯罪って どんなこと?</li> <li>被害者や加害者に ならないために</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>お金に関わる 犯罪とは</li> <li>被害者になったら</li> <li>犯罪を 起こさないために</li> </ul>	

## 資料2 給料明細書をみてみよう2

### 1) 授業について

社経-1-2		<b>「給与明細書をみてみよう2」</b>	
対 象	本校卒業生 3名	時 間	(2/2)時間
目 標	○給与明細書の見方を知り、自分の給料がどうなっているかに興味を持つ。 ○給与明細書の各項目の意味がわかる。 ○給与明細書の持つ意味がわかり、自分の給料にこれまでよりも関心が持てる。		
準備物	ホワイトボード、ワークシート、給与明細書一覧表、電卓		
<b>授業のポイント</b>			
指導内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与明細書の見方を知る              就業に関する項目、支給に関する項目、控除に関する項目、その他              支給総額-控除の総額=実際に支払われる給料</li> <li>・給与明細書で使われることばの意味がわかる。              就業に関する項目：就業状況、倦怠項目、出勤日数、実働日数、実働時間              時間外勤務、年休、週休、欠勤、等級、号数              支給に関する項目：支給内訳、基本給、手当、差引支給額、通勤手当              控除に関する項目：控除、雇用保険、労働保険、健康保険、厚生年金保険              介護保険、所得税、              その他の項目       : 累計</li> </ul>		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与明細書には就業に関する項目、支給に関する項目、控除に関する項目、その他の項目の4種類の内容があることがわかる。同時にそれぞれの項目の内容についてわかるとよい。</li> <li>・明細書ごとの表記の違いを考えながら説明をするようにすし。</li> <li>・給与明細書に使われていることばについて、具体例を出しながら説明する。</li> <li>・給与明細書が自分の給料を知るために大切な物であり、毎月きちんと見る必要があることがわかるようにする。</li> </ul>		
ゲストティーチャーの利用	学校事務関係の人に手伝ってもらってもよい。		
ワークシートのポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2「わからないことば一覧表」(板書用)              抜き書きされたわからないことばを板書するための表。勤務状況に関することば、支給項目に関することば、控除項目に関することば、その他のことばを色分けして貼り付けられるようにする。必要に応じて生徒が書き込めるワークシートも用意する。</li> <li>・ワークシート3「まとめのワークシート」              給与明細書が大切な書類であること、実際にもらえる給料は「支給の総額-控除の総額」で計算できること、毎月しっかり確認するようにすること等が理解できればよい。</li> </ul>		
備考			

## 2) 展開例

活 動	展 開	留 意 点
挨拶をする。 前時の振り返りを行い、本時の内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> <li>○「給与明細書」に書かれていることを学習したことを振り返らせ、「給与明細書」の見方とわからないことばについて知ることを伝える。</li> </ul>	○
給与明細書の見方について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給与明細書の中身が、 勤務状況に関する項目 支給に関する項目 控除に関する項目 その他の項目 で成り立っていることに気づかせる。</li> <li>○それぞれの項目の内容について説明する。</li> <li>○給料の手取額が支給の総額－控除の総額で計算できることがわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に使ったわからないことばの一覧表を有効に使えるよう工夫する。 なぜ4種類に分けたのか明細表を色分けして</li> <li>○テキストに沿って項目について説明、可能な限り明細書でも確認させる。</li> <li>○時間があれば、テキストの明細書で実際に計算させてみる。</li> </ul>
わからないことばについてその意味を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に抜き書きした「わからないことばの一覧表」に書かれていることばについて、テキストも使いながら説明する。</li> <li>○その際、次の4分類についても確認させるようにする。 A：勤務状況に関することば B：支給項目に関することば C：控除項目に関することば D：その他のことば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テキストにあることばの一覧表を利用しながら解説する。</li> <li>○一覧表にないことばはテキストに書き入れる。</li> </ul>
本時の学習についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめのワークシートを使って、本時のまとめを行う。 ・給与明細書が大切な書類であること ・実際にもらえる給料は「支給の総額－控除の総額」で計算できること ・毎月しっかり確認するようにすること等が理解できればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒と考えながらまとめられるとよい。</li> <li>○生徒によっては「給与明細表を自分で管理する」ことまで理解できるとよい。</li> </ul>

### 資料3 銀行の仕組みとはたらき

ステップ3 社会

#### 銀行の仕組みとはたらき (特別支援教育版)

テキスト p. 54~57 (1時間)

キーワード 銀行の仕事 利息、利率、金利 預金の種類 キャッシュカード

#### 1. 本時のねらい

- ①銀行の各種業務を知るとともに、銀行がどのように利益を出しているかがわかる。
- ②利息、利率について知るとともに、いろいろな預金の種類を知る。
- ③キャッシュカードでできることがわかるとともに、使用上の注意点がわかる。

#### 2. 本時の展開例

主な学習活動と予想される反応	指導上の留意点と評価等
(1) 銀行の仕事について知っていることを発表する ・お金を預ける(預金する)。 ・お金の引き出し。 ・ATMの利用。	○本時のテーマを意識させる。 ○銀行の窓口のイラストやATMのイラストも参考にし、考えさせる。
(2) テキストのATMメニュー画面からわかる銀行の業務について、それがどんな業務なのかを予想し発表する。 ・預け入れ、引き出し、振り込み、支払い、残高照会など。	○ATMメニュー画面を見て、銀行にはさまざまな業務があることに気付かせる。特に税金や公共料金の振込など、生徒になじみのない場合には説明をする。
(3) 銀行がどのように利益を得ているかを考え発表する。 ・銀行は預かったお金を貸し出している。 ・貸したお金の利息をつけている。	○貸出に対して利息が付いていること、貸出と預金の「利ざや」が利益となる仕組みを理解する。 ○振り込んだ際に得られる手数料の収入、運用利益などもあることを伝えてもよい。
(4) 利息や利率、金利がどのようなものであるかを知り実際にどのくらいの率なのかを調べる。 ・普通預金の金利、定期預金の金利 定期預金の金利の方が高い。 ・自動車ローン、教育ローン、カードローンの金利 ローンの金利は高い。	○利息、利率、金利についての説明を行う。 ○預金の種類、貸出の種類を考える。 ○銀行のホームページより預金や貸し出しの利率を調べる。
(5) 100万円を預金した、借り入れた場合の金利を計算し、比較する。 ・普通預金、定期預金	○借り入れた時の利息の大きさに気づかせるようにする。 ○利息を考えながら銀行を利用することに気づく

<p>利息が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ローン、カードローン</li> </ul> <p>利息が多い。</p> <p>(6) 金利の表から預金の種類と金利について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期預金の方が金利が高い。</li> <li>・長期の定期預金の方が金利が高い。</li> </ul> <p>(7) キャッシュカードでできることについて考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預け入れ、引き出し、振り込み、支払い、残高照会など。</li> </ul> <p>(8) キャッシュカードの利用に関する注意事項を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗証番号を教えない、見られない、忘れない</li> <li>・しまう場所に注意する。</li> <li>・自分で管理する。</li> </ul> <p>(9) 本時の学習についてワークシートにまとめる。</p>	<p>ようにさせる。</p> <p>○金利の高い預金、低い預金とそれぞれの特性が理解できるようにする。</p> <p>○ATMのイラストも見ながらキャッシュカードでできることを考える。</p> <p>○自分の生活の中から考えられるとよい。特にカードの管理については、家族、支援者と相談するように伝えてもよい。</p> <p>○学習した内容はひとつ一つまとめておき、生徒がまとめやすいようにしておく。</p> <p>○時間があれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行の業務は信用で成り立っていること</li> <li>・利息には税金がかかること</li> </ul> <p>なども伝えるようにする。</p>
--	--

## 資料4 クレジットカードの特徴と利用

### ステップ4 家庭

#### クレジットカードの特徴と利用 (特別支援教育版)

新テキスト p.106～113 (1/2時間)

キーワード クレジットカード 契約 三者間契約 分割払い リボ払い キャッシング

#### 1. 本時のねらい

- ①クレジットカードについて、その仕組みや利用法、特徴などについて知る。
- ②クレジットカード利用の際の注意点がわかる。
- ③クレジットカード以外の現金を使わない支払い方法を知り、その特徴がわかる。

#### 2. 本時の展開例

主な学習活動と予想される反応	指導上の留意点と評価等
(1) クレジットカードについて知っていることを発表する。 ・お金を払うカード ・お金を借りるカード。	○本時のテーマを意識させる。 ○生徒の意見は板書し、どのくらいの知識があるかを把握する。 ○実物を見せながら考えさせる。
(2) クレジットの意味とクレジットカードでできることを知る。	○P108上段の記述を読みながらクレジットカードの機能「ショッピング」と「キャッシング」を説明する。
(3) クレジットカードを使用する理由について考える。 ・お金(現金)が足りない。 ・お金を持っていなくても買える。	○クレジットカードの利便性に気づくとともに、その危険性にも考えが及ぶとよい。
(4) クレジットカードの仕組みや契約ということばについて理解する。	○P108下段の記述や図でクレジットカードの三者間契約について説明する。その際、クレジットカード会社の利益についても考えさせる。
(5) 実際のクレジットカードに触れ、その特徴を考える。 ・数字、署名、チップ	○キャッシュカード等他のカードと比較できるとよい。
(6) 使い方、支払いの方法(1回払い、リボルビング払い)やキャッシングについて知り、その際の金利がわかる。	○使い方：購入し、署名する。ネット通販等の支払い 支払い方法と利息 キャッシングと利息 銀行の金利などと比較する
(7) 具体的なクレジットカードの契約を知り、再度クレジットカード使用上の注意を考える。 ・金利が高い ・リボ払いが楽なわけではない。	○実際のカードの契約内容を見せる。 ・カード規約 ・契約の内容 に注目させる。 ○利用可能額と金利に気付かせる。 ショッピング：利用可能額、リボ年率 キャッシング：利用可能額、年率 に注目させる。
(8) 本時の学習についてワークシートにまとめる。	○本時の学習のポイントについてワークシートにまとめる。 その際、自分はどうするかということを考えさせる。 ○時間があればクレジットカードを作ることについての注意なども伝える。